

## 「洗礼者ヨハネの誕生予告」

2022年12月09日

すると、主の天使が現れ、香をたく祭壇の右に立った。ザカリアはこれを見てうろたえ、恐怖に襲われた。天使は言った。「恐れることはない。ザカリア、あなたの祈りは聞き入れられた。あなたの妻エリサベトは男の子を産む。その子をヨハネと名付けなさい。（ルカ福音書1：11～13）

ザカリアはやっと出て来たが、ものが言えなかった。そこで、人々は彼が聖所で幻を見たのだと悟った。ザカリアは身振りで示すだけで、口が利けないままだった。（ルカ福音書1：22）

著者ルカは、イエス物語を主イエスの道備えをし、主イエスに洗礼を授けた洗礼者ヨハネの誕生から書き始めている。時はヘロデ王がユダヤを治めていた時代である。エルサレム神殿には2万人近い祭司が神殿で祭儀を司っていた。アビヤの組の祭司にザカリアと言う人がいた。妻はアロン家の娘で、名をエリサベトと言った。夫婦は神の前に正しい人で、主の戒めと定めを落ち度なく守る生活をしていた。エルサレム神殿は実質、墮落していたが、ザカリア・エリサベト夫婦は、神を畏れ、律法を守る信仰深い生き方を貫いていた。ところが、エリサベトは不妊の女で、夫婦には子どもがなかった。聖書の場合、不妊は全て、妻の責任になっている。そして、二人は既に年を取り、高齢になっていた。

ザカリアは自分の組が当番になり、祭司の務めをしていた時、慣例に従ってくじを引いたところ、主の聖所に入って香をたくことになった。人々の罪を執り成す大事な務めを負わされた訳である。香をたいている間、大勢の民衆は皆、外で祈っていた。「すると、主の天使が現れ、香をたく祭壇の右に立った。ザカリアはこれを見てうろたえ、恐怖に襲われた。天使は言った。『恐れることはない。ザカリア、あなたの祈りは聞き入れられた。あなたの妻エリサベトは男の子を産む。その子をヨハネと名付けなさい。』」主の天使が、祝福の方角である祭壇の右に立ち、妻エリサベトは男児を産む、その子をヨハネと名付けなさいと告げた。そして、ヨハネの生涯の意味と働きを告げている。ヨハネの誕生は、親はもとより、多くの人々の喜びとなる。彼は主の前で偉大な人となり、ぶどう酒も麦の酒も飲まず、母の胎内にある時から聖霊に満たされ、イスラエルの子らを神に立ち帰らせる。預言者エリアの霊と力で、主（イエス）に先立って行き、父なる神の心を子（イスラエル）に向けさせ、神に逆らう者に正しい思いを抱かせ、整えられた民を主のために用意する。ヨハネは主イエスの道備えをし、人々の思いを神に向けて整える働きをすると告げた。驚き、恐れたザカリアは、私たち夫婦は年を取っているのに、子どもが与えられることなどあり得まじょうかと不信に思って問う。天使は、更に告げる。私は神のみ旨を告げるガブリエルで、あなたに喜びを伝えるために遣わされてきた。あなたは、時が来れば実現する私の言葉を信じなかったから、ヨハネの誕生まで、口が利けなくなる、と。神の言葉への不信は、言葉を失うことであると宣告された。

外で待っていた民衆は、聖所で手間取っているのを不思議に思っていたが、出て来たザカリアはものが言えなくなっており、身振りで示すだけであった。人々は聖所で幻を見たのだと悟った。務めの期間が終わり、自宅に帰った。その後、妻エリサベトは懐妊し、5ヶ月の間、身を隠していたが、彼女は、「主は今、こうして、私に目を留め、人々の間から私の恥を取り去ってくださいました」と、喜びの声を上げている。